

第 10 回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	第 10 回安曇野市行政改革推進委員会
2	日 時	平成 22 年 6 月 25 日 午後 2 時から午後 3 時 14 分まで
3	会 場	長野県安曇野庁舎 402 会議室
4	出席者	白澤会長、浅川副会長、尾台委員、唐沢委員、佐々木委員、林委員、牛山委員、加々美委員
5	市側出席者	土肥総務部長、古幡行政改革推進室長、堀内室長補佐、平林係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0 人 記者 0 人
8	会議概要作成年月日	平成 22 年 7 月 5 日
協 議 事 項 等		
1	会議概要	
	(1) 開 会	(浅川副会長)
	(2) あいさつ	(白澤会長)
	(3) あいさつ	(宮澤市長)
	(4) 議 事	安曇野市行財政改革大綱（第一次）・行政経営改革プランの実施結果について
	(5) その他	
	(6) 閉 会	
2	審議概要	
		安曇野市行財政改革大綱（第一次）・行政経営改革プランの実施結果について
	事務局：	安曇野市行財政改革大綱（第一次）・行政経営改革プランの実施結果として、プランに掲げた 50 の取組項目中、45 項目について目標等が達成され、達成率が 90%であること、また、その効果額が 500,185,063 円であることを報告します。また、市税等の納付環境を整備することを目的に、平成 21 年、コンビニエンスストアでの収納を開始し、平成 21 年度中、市県民税、固定資産税、軽自動車税について 38,945 件、551,017,399 円の収納実績があったことを報告します。
	委 員：	未達成の 5 項目について、本当に実行しなければならないのかどうか、或いは、繰り越しても差し支えないものかどうかを示してほしい。
	事務局：	これらの項目について、その取組を時間的に早い・遅いと区別することは難しいものと考えます。
	会 長：	できなかったものの中に、緊急性が高く、早急に行わなければいけないものがあるかどうか。ある場合には、どう対応していくのかということ。また、重要ではあるが、時間をかけなければならないものなどあると思いますがいかがでしょうか。
	事務局：	市民基本条例につきましては、今後時間をかけ、進めなければならない事項であると考えております。

収納率の向上につきましては、緊急かつ重要な課題と認識しておりますが、現在の社会経済状況の中で対応していくことは非常に難しくなっております。そこで、現在、関係課による収納体制・組織の再構築の検討を進めております。また、消防団関係につきましては、長い歴史と伝統の中で培われた事項でありますので、十分時間をかけて検討していかなければならないと考えております。

委員：事業を推進するにあたっての緩急の問題ですが、これには一つのルールつくってやってもらわないと、市民としては納得できないと思います。

委員：定員適正化計画による職員の削減に伴い非常勤等職員が増加することで、一般職員の負担が増すということはありませんか。

事務局：非常勤等職員の多くは保育士等の資格を持った方で、特に福祉分野では、介護保険導入以降制度も複雑になり、社会福祉士などの資格職の分野で、非常勤等職員に頼っているのが現状です。

委員：非常勤等職員が増加することで、正規職員への負担の増加、しわよせ、具体的には超過勤務の増加につながっていくことはありませんか。

委員：それは、係に能力が無いか仕事が多すぎるかのどちらかで、それが超過勤務にはみ出していくわけです。他市は、市制 50 年、100 年の歴史の中で、それぞれの分野で専門的な職員を育ててきましたが、安曇野市の職員の場合は、寄せ集めという要素もあり、時間をかけ、教育を行っていく必要があります。

委員：収納率の関係ですが、ある市で消滅時効により債権が回収できなかったということが報道されていましたが、安曇野市ではどうですか。

事務局：税債権の場合、時効中断のために差し押さえなどの措置を講じております。税の場合、財産の差し押さえなどを行いながら、徴収率を上げていくという方法しかありません。

委員：給食費の未納分についてはどうでしょうか。

事務局：給食費の徴収は学校を通じて行っていますが、卒業してもお支払いいただけない方もいらっしゃいます。

委員：緊急度が低くても「市の将来の姿として、こうしたい」というような大きなものについては、時間がかかっても、手を緩めず進めていっていただきたい。協働については、本当は好ましい方法ではありませんが、例えば最初は行政主導で計画し、提案型で市民を巻き込んで一つの例を作っていく必要があると思います。少し手間をかけてもやっついていかないと、第二次大綱でも足踏み状態になることが懸念されます。

事務局：協働ということばを持ち出すと、「市にお金がないから私たちにやらせるのか」という理解をされる方もおいでになる中、一つの切り口として、地域の皆さんが自分の地域を守るということで行っているのが自主防災組織です。今後も、様々な切り口の中で協働というものを後押しすべきと考えております。

委員：地域では、コミュニティづくりを一生懸命やっています。それを基盤として膨らませていくこと、足元から出来ることを探し取り組むことが大切だと思います。

会 長：個人の権利を侵害するような方法ではいけないですが、自主防災組織の活動と合わせ、転入されていき方についても、ある程度把握する必要があると思います。昔は、向こう三軒両隣が分かっていたのですが、今は、そういう状況ではありません。私の区では年に数回清掃活動を行い区民全員が参加します。そうしたことが最終的に協働の力にもなるし、市民参加の力にもなると思います。

閉 会（副会長）

あらためまして、4年間熱心なご審議をいただきありがとうございました。以上をもちまして行政改革推進委員会の今期の議事のすべてを終了いたします。ありがとうございました。